



## 高木仁三郎記念 ちょうふ市民放射能測定室

### 測定器購入、運営のための 寄付のお願い

調布市で市民による測定室を立ち上げようという提案から、測定器の選定（暫定）を行い、500万円を目標に助成金の申請、購入のための募金などの活動に入りました。300万円の寄付申し出があり、残金を借り入れなどでまかなえる見込みが立ったため、測定器の購入を決断、4月26日に発注し、5月11日に測定器が納入されました。直ちにさまざまな検体入手して測定試験を兼ねて計測を開始、現在に至っています。設立総会の時点で、3,444,226円の寄付（ホームページの寄付一覧をご覧ください）がありました。当初の目標額まであと1,555,774円です。

みなさまの温かいご支援をお願いします。

目標額 **5,000,000 円**



使用する測定器  
アロカ社の社のNaI  
スペクトロメータ

#### 振込先

#### 郵便振替

口座番号 00170-4-728010

口座名義 ちょうふ市民放射能測定室

#### 銀行振込

口座番号 多摩信用金庫 調布北口支店  
普通口座 0129826

口座名義 ちょうふ市民放射能測定室  
藤川榮志

### 放射能測定の手続き 方法と内容

1. 放射能測定予約申込  
ネット依頼 <http://choufu-lab.org/>  
電話番号 042-487-1714（みさと屋内）  
FAX 番号 042-487-1742
2. 予約申込受理
3. 放射能測定依頼書提出（持ち込み、送付）
4. 測定検体提出（持ち込み、送付）
5. 検体放射能測定
6. 放射能測定結果通知、検体返却

### 放射能測定の料金

1. 食品 1検体 3,000 円
2. 土壌 1検体 2,000 円
3. 団体、事業所からの依頼については応相談

#### 高木仁三郎記念・ちょうふ市民放射能測定室

代表 尾辻 潤和

高木仁三郎博士は、1990年から亡くなった2000年まで調布市上石原にお住まいでした。長年にわたって原子力の商業利用の危険性に警鐘を鳴らす研究と活動を続け、とくに調布にお住まいの時期には阪神大震災の経験から、日本の原発が地震や津波に弱く脆弱な放射能災害を引き起こす可能性があることを明らかにして警告しました。私たちは市民が自らの未来を考える高木さんが提起した市民科学を調布市で実現していくために、この測定室を「高木仁三郎記念・ちょうふ市民放射能測定室」と名づけます。



〒182-0024

東京都調布市布田 2-2-6

電話番号 042-487-1714

FAX 番号 042-487-1742

ホームページ

<http://choufu-lab.org/>

ブログ 測定室日記

<http://choufu-lab.sblo.jp/>

## 市民のための放射能測定室は どのように利用したらいいのでしょうか



### 一般家庭の みなさん



#### ★家庭菜園で作った野菜は大丈夫？

すべての野菜を測定しなくてもいいと思います。測定室と相談をして 最も放射能の影響を受けやすい作物を選んで 一度だけでも計測してみてください。値を見る事で安心できます。

#### ★家庭菜園や庭の上は大丈夫？

家庭野菜や庭の花壇など、日常的に触れる上を一度計測してみましよう。周辺より高いのか、低いのかを知っておくと安心です。市民測定室では土壌の測定も受付けています。自分で作った堆肥や腐葉土も一度計測しておくとお勧めです。

#### ★故郷から送られてくる野菜や緑豆米は大丈夫？

これらは市場を通さない作物なので放射能検査を経していないものが多いのが実情です。一度だけでも計測をしておく、送る方も送られる方も安心です。

#### ★子どもが普段 遊ぶ所は大丈夫？

自宅の近くで、普段 子どもが遊ぶ所の安全を確認しておくとお勧めです。公園や児童公園など、子どもが遊ぶ所の空間線量や、土壌の計測を行っておくと安心です。

### 学校や保育園など給食を作る みなさん

#### ★保存食を計測できますか？

『陰膳測定』といって、保存食（給食の一部を保存しておいたもの）をミキサーにかけて計測する方法があります。定期的に測定してみて給食全体の安全性を確かめることができます。

#### ★食材の調理前の計測は？

『陰膳測定』で高い数値が出た場合や、コメやキノコ類、果物類、牛乳、粉ミルクなど、全国的にも放射能汚染が報告されているものについて、給食で使用する前に一度でも計測しておくことを お勧めします。

### 一般の商店、飲食店、業者のみなさん

#### ★仕入れた商品や材料は大丈夫？

放射能汚染の可能性が報告されている物を扱う業者の方は、ぜひ一度は 仕入れた商品や材料の安全性を確かめることを お勧めします。シーズンに一度、ひとつの産地について一度でも いいでしょう。

#### ★土壌は大丈夫？

園芸、造園、建築など、土に接する仕事の方には、土壌検査をお勧めします。

